

JICA NGO 等提案型プログラム NGO・市民社会組織のための危機管理・安全管理研修（東京） 募集要項



1. 研修の概要

NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）は、JICA の NGO 等活動支援事業として 2019 年 1 月より全 8 回に渡り、安全管理者及び現地派遣者のための危機管理・安全管理研修を開催してきました。過去開催した 5 回の研修には、全国各地域の NGO を始め、教育機関、宗教団体、草の根事業を行う企業等、のべ 143 団体 195 名の方にご参加を頂き、好評を頂いております。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックにより、今年度予定していた研修は開催を延期しておりましたが、この度新たに COVID-19 下における危機管理・安全管理として内容を見直したうえで、本年 11 月より研修を再開することとなりました。

本研修で扱う「安全管理」は、交通事故、疾病、強盗等の平時の危険から、紛争やテロ等の治安に関わる危険までを対象としています。スタッフの交通事故や感染症等で、ひやり、はっとした経験は、海外で活動する多くの団体が一度や二度は経験しているかと思います。団体として、また個人として、危機管理・安全管理は、組織のマネジメントと支援活動の根幹に関わる重要事項です。

研修は今回より 1 日目が「安全管理者向け研修」（半日）、2 日目が「現地活動スタッフ向け研修」（1 日）で構成され、資格要件を満たす限り 2 日間の参加が推奨されます。ただし、関心に応じてどちらか 1 日への参加も可能です。日本の市民社会の様々な役職のスタッフが、危機管理・安全管理について経験を共有し、相互の学びの機会を持つことを重視した構成となっています。

講師は UNHCR の安全管理トレーナー養成研修を修了し、NGO 等での運営と現場経験が豊富な方々が務め、参加者の学びをファシリテートします。

【日時】 ①2020 年 11 月 20 日（金）13:00-18:00 安全管理者向け研修

②2020 年 11 月 21 日（土）9:00-18:00 現地派遣者向け研修

【場所】 独立行政法人国際協力機構 東京センター（JICA 東京）地下 1 階 講堂

<https://www.jica.go.jp/tokyo/office/access.html>

【言語】 日本語

【主催】 NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）

【講師】加藤 真希 氏 一般社団法人 平和村ユナイテッド

山形 文 氏 公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン

【*以後の研修予定】

2021 年 1 月中旬：オンライン開催

2021 年 2 月下旬：オンライン開催（大阪会場での研修の代替として、西日本の団体の参加優先）

2. 募集定員と参加申込方法

1 募集定員：各 20 名

2 対象者：

(1) 国際協力 NGO のスタッフを主な対象としますが、海外にスタッフを派遣している教育機関、学生団体、NPO、任意団体等、非営利の市民社会組織に属する方であれば、原則どなたでも参加可能です。役員、職員、専門家、インターン、ボランティア等、団体での身分は問いません。

(2) ①の安全管理者向け研修は、海外にスタッフを派遣する非営利組織で原則 2 年以上の活動経験を以ってご参加可能方を対象とします（非専従、ボランティア、インターン等の経験を含む）。経験 2 年未満の場合は、個別相談下さい。

3 参加費：無料

※いずれか 1 日のみの参加は可能ですが、両日とも、プログラムの一部のみへの参加は認められません。

※1 団体から、管理者（例：役員、団体代表者）と実務者のペアによる参加を推奨します。また 1 団体から 3 名以上の方が申し込みの場合、応募状況により人数調整をお願いする場合があります。

3. 申込期間と方法

2020 年 10 月 22 日（木）～2020 年 11 月 6 日（金）

* 以下の google form または QR コードからお申し込み下さい。

<https://forms.gle/hR4HWMRLCs2UGwXe8>



4. 交通費・宿泊費の補助

*** 移動に際しては、COVID-19 感染対策上、都道府県間の移動を控えるよう行政からの要請が出ていないことが前提となります。また、下記に記載の感染対策の実施にご協力をお願いすることとなります。**

*** 首都圏外に事務所/住所が所在し、研修会場まで片道 2 時間以上かかる参加者のみ補助可能です。**

*** JICA が定める本プログラムの基準と流れに沿って支給します。支給対象者には、事務局より詳細を別途ご案内します。**

①交通費

- 経済的な公共交通機関（鉄道、バス）航空券（エコノミークラス格安）の実費分のみ対象（ただし感染対策上希望する場合、制限予算内での車両移動経費を認める場合があります。個別にご相談ください。）
- 実費精算ですが、補助金額の上限があります。
- 必ず領収証（または経路を証明する書類）が必要です。
- 参加者の事務所所在地もしくは住所から研修開催地最寄駅までの「直行直帰」を支給対象とします。研修参加以外の用務にかかる経路を支給補助に含めません。
- 両日参加の場合の交通費補助は 1 往復分のみです。
- 研修当日中に出発点に到着する経路のみが支給補助対象となります。

②宿泊費

- ご自身で研修会場に近く最も経済的な宿泊先をご手配下さい。（朝食付きのみ可）
- 実費精算ですが、補助金額の上限があります。
- 前泊、後泊は事前相談のうえ、了承された対象者のみに支給されます。
- 市販の出張パック（宿泊＋交通手段）は利用可能です。ただし、補助金額上限があります。

NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）は、日本の NGO の有志団体によって運営されるネットワークです。NGO の安全管理に関する基準の普及と能力向上支援、アドボカシーを行っています。

5. 研修の内容と目的

「管理者向け研修」(半日)

対象者：団体の経営・運営を担う役員やマネージャーの方、団体の安全管理に責任を負う方、または今後そのような職責を担う予定で学びたいと考えている方

内容：日本の法令上課せられている善管注意義務、COVID-19 下での危機管理・安全管理計画のポイント、安全計画を組織内で機能させる方策、自団体の現状確認と改善策の検討

「現地活動スタッフ向け研修」(1日)

対象者：海外で活動する方、またはその活動に責任を負う方

内容：COVID-19 下で安全の意識化、リスク評価手法、事務所・住居の安全対策、移動時の安全対策、心身の健康管理、今後の整備・改善事項の整理と次期渡航への備え

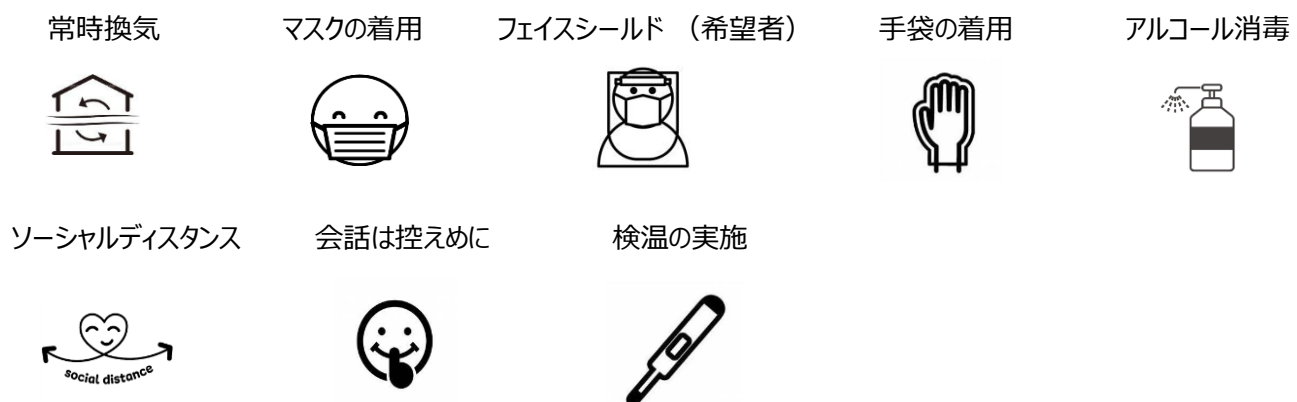
研修参加によって得られること

- ・NGO の行う安全管理について、体系的な理解を深めることができます。
- ・最新のリスク管理手法への理解を深め、団体の規模、ミッション、活動地等に応じ、業務での応用法を理解できる。
- ・COVID-19 への対応や課題も含めて、他団体と経験を共有しながら、自団体の抱える課題を整理することができます。
- ・安全管理計画策定のためのツールや研修情報等を入手することができます。

過去研修参加者の声

- ・リスクを具体的にイメージするのに役立った。
- ・安全管理計画に入れると良い項目がわかった。
- ・自らのアクションを促す内容になっていたことは個人としても組織としても良かった。
- ・様々な団体が参加したことで、自団体以外の状況や事例を知ることができ、参考になった。
- ・安全管理とは「～してはいけない」ではなく、「活動を可能にするためのもの」とわかった。
- ・とても参考になる研修をありがとうございました。もっと多くの方にご参加頂けるようになれば良いです。

6. COVID-19 対策 コロナ感染予防のため、当研修では以下の対策を取ります。



【対策概要と事前理解のお願い】

NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS) は、日本の NGO の有志団体によって運営されるネットワークです。NGO の安全管理に関する基準の普及と能力向上支援、アドボカシーを行っています。

- ・会場での研修開催に際して、下記の通り可能な限りの対策を行いますが、リスクはゼロにはならないため、感染等発生時には自身の責任において対応して頂く必要があることを理解し、同意の上でご参加下さい。
- ・事前の体調管理と体調不良の場合の参加中止、事後の体調不良等の報告について順守頂けるよう、ご協力下さい。
- ・会場では濃厚接触を避けるため、人との十分な距離の確保、マスクの常時着用、適宜の消毒をお願いします。
- ・研修内のワークは、紙は使用せず、全てノート PC 上でオンラインにて行います。
- ・会場と自宅の間の移動時も、マスク着用と他人との十分な距離の確保を、各人で行うようお願いいたします。
- ・昼食時が、最も感染リスクが高くなります。会場近辺には飲食可能な場所がありません。よって、現地活動スタッフ向け研修に参加の方は、できるだけ昼食は持ち込み、会場の建物内で十分な距離を取って向かい合わずに座り、会話は慎んで食事をするようご協力をお願いします。

【会場・運営上の対策】

- ・常時空調により換気、また休憩時間には窓を開けて換気を行います。
- ・接触部分はスタッフが消毒を行います。
- ・動線を定め、各人の机は 1m の距離を取って配置します。各座席からノート PC の電源確保と wifi 接続を可能とします。
- ・紙での資料配布は行わず、資料はすべてデータでの配布とします。

【参加者へのお願い】

- ・参加前 10 日間は毎日検温を行い、発熱、体調不良、味覚異常等がある場合は参加の中止をお願いします。
- ・参加後 10 日間も体調の変化に留意し、異常があった場合には主催者への報告をお願いします。
- ・公共交通機関での移動で、濃厚接触が避けられない場合は、予算上限内で車両での移動経費（ガソリン代・駐車場代等）の補助が検討可能なため、個別にご相談ください。
- ・昼食はできるだけ持参の上、上記の注意事項を守って会場内での飲食にご協力下さい。外部のレストラン等で飲食する場合も、不十分な距離で飲食や会話をすることの無いように、ご注意をお願いします。
- ・マスクは常時着用下さい。
- ・適宜手指の消毒をお願いします。また、携帯電話についても消毒をお願いします。
- ・希望者には、受付でフェースガードを貸与します。ただし、表面に手で触れることで感染リスクがより高まる可能性もあるため、使用と管理はそれぞれ責任を持って行ってもらえるようお願いいたします。
- ・会場では指定された動線に沿っての移動をお願いします。また濃厚接触を避けるため、「マスクをした状態で 1m 以内に 15 分以上」、お互いに近づくことの無いようにご協力下さい。また、やむを得ずマスクを 15 分以上外している場合は、2m の距離の確保をお願いします。
- ・会場内では、蓋をすることができる容器での飲料の持ち込みと喫水が可能です。ただし、喫水の間はマスクを外すことになるため、会話は控えて頂けるようお願いいたします。
- ・名刺交換を不要とするため、全参加者の名前、所属、メールアドレスをデータで共有することについて、同意をお願いします。
- ・当日のワークは模造紙や付箋は用いず、すべてオンラインで行うため、出来るだけノート PC を準備の上、持ち込みをお願いします。持ち込みが不可の方は、申し込みフォームに貸与希望とご記入ください。
- ・感染予防対策のため、紙、筆記具の配布、貸与は行いません。手書きでメモなどを取られたい方は、ご自身での持参下さい。

<お問合せ先> NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS)

運営事務局 ((特活) 国際協力 NGO センター JANIC 内) E-mail : janiss-info@janiss.net 担当 : 榎

NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS) は、日本の NGO の有志団体によって運営されるネットワークです。
NGO の安全管理に関する基準の普及と能力向上支援、アドボカシーを行っています。